

科目名称	釉薬技法演習			授業コード	10070291
担当教員	森岡 希世子				
単位数	2.0	授業形態	演習	科目分類	選択
年次	3	開講年度	2019	開講学期	前期
関連資格	教職				
履修制限等					
到達目標(目的含む)	陶芸分野での加飾技法である釉薬・下絵付け・上絵付に関する理論と技法を学ぶ。 また、様々な焼成技術により釉薬・絵具の科学的な変化を実習を通じて経験し、知識を広げることで作品に応用できる能力を身に付ける。				
授業の概要	先ず、テストピース制作・焼成実験を通じて釉薬の種類と科学的構造、焼成による変化を考察し、釉薬についての知識を広げる。 次に、実験結果から導き出した、各自のテーマにもとづいて作品制作と独自の釉薬・絵具の研究を行う。 最後に、作品制作を実践しながら、釉薬掛け・下絵付け・上絵付の基礎技法を習得し、自己の表現方法の可能性を広げる。 陶芸の窯元での成形部門で業務していた経験を活かし、轆轤成形の基本的な知識と手法等について具体的に講義する				
授業計画	1: イントロダクション 2: 釉薬の種類を考察 3: テストピース制作 4: 釉薬の調合・焼成説明 5: 実用陶器のデザイン考察 6: 実用陶器の基礎演習1 7: 実用陶器の基礎演習2 8: 下絵付け・上絵付説明 9: 下絵付け演習 10: 釉薬掛け演習 11: 実用陶器の応用演習1 12: 実用陶器の応用演習2 13: テストピース制作 14: 上絵付演習 15: 全体講評				
授業時間外学習	博物館、美術館での陶芸に関する名品をできるだけ見に行くよう努めること。				
評価方法	作品評価が原則である。課題は全て提出しなければE評価となる。				
課題・試験に対するフィードバックの方法	全体講評の授業で全員の課題作品について教員が講評を行う。				
使用テキスト	便宜、釉薬に関する印刷物を配布				
参考テキスト・URL	授業の中で参考資料を必要に応じて紹介する。				
各自準備物	作業着、筆記用具、スケッチブック				
実習費					
その他	ガラス・陶芸コースの学生は履修することが望ましい。				